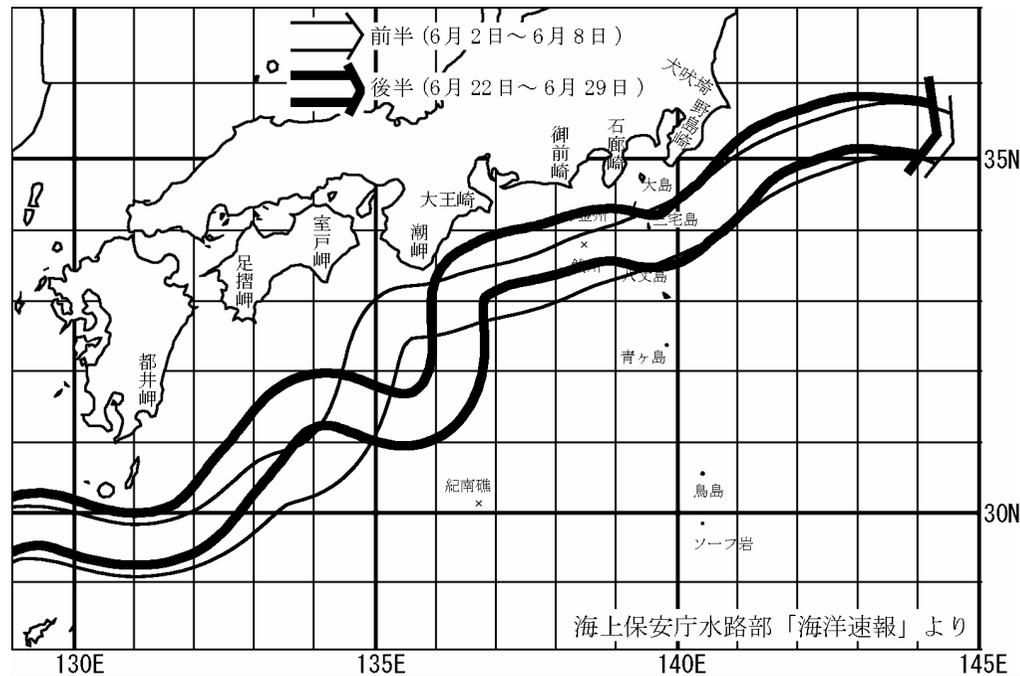


# 漁海況月報

平成 16 年 6 月 1 日

No. 6 ~6月30日

静岡県水産試験場  
(電話 054-627-4815)  
静岡県水産試験場伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



## [黒潮流路]

黒潮は、先月に引き続きN型で、遠州灘沖33°20' ~33°50' Nを東進、御蔵島~三宅島を通り房総沖を北東に流れた。中旬に極めて小さな蛇行が遠州灘から房総沖へ東進し、伊豆諸島北部海域は一時的に冷水に被われたが下旬には暖水が波及した。相模湾への暖水波及は、上旬と下旬に見られた。一方、駿河湾は、23 台の暖水で覆われていた。定地水温は、全ての測点で平年並から高めで推移した。

## [県下沿岸域]

定地水温は、相模湾側では18~22 台、駿河湾東部では20~25 台、駿河湾西部では20~23 台で経過した。県下の全ての測点で平年並~高めで推移した。

## [竿釣近海カツオ]

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は289トンで豊漁であった前年同期の64%であった。魚価は340円/kgで、前年同期を大きく上回った。

中型竿釣船の記録(QRY)及び御前崎市場での調査によれば31°~35°N、138°~141°E(表面水温22.9~24.9)で漁場が形成され、極小、小、チンカツオを中心に漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
16年6月上旬	70	15	4.6	388
中旬	184	37	5.0	329
下旬	36	12	3.0	299
16年6月計	289	64	4.5	340
15年6月計	453	118	3.8	258
14年6月計	243	75	3.2	507

## [定置網]

平成16年6月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は516トンであった。1漁場当たり水揚量64.5トンは、前年27.4トンの2.4倍、平年値(昭和57~平成15年平均値)47.2トンの1.4倍であった

魚種別にみると、サバ類237トン(前年の90%、平年の2.6倍) マルソウダ73.5トン(前年の87%、平年の5.9倍) マアジ71.5トン(前年の74%、平年の98%) カタクチイワシ33.3トン(前年の54%、平年の73%) さばっこ23.9トン(前年の5.2倍、平年の1.2倍)の順に多かった。

サバ類は谷津及び北川を中心としてゴマサバ主体で入網し、ゴマサバの尾叉長の中心は30~35cmであった。マサバも49.4トン漁獲され、谷津及び北川の両漁場を合わせるとマサバ全漁獲量の85%を占め、尾叉長のモードは33~34cmであった。マルソウダは川奈及び富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは33~34cmであった。マアジは北川を中心に入網し、尾叉長のモードは14~15cm及び19~21cmであった。カタクチイワシは富戸を中心に入網し、被鱗体長の中心は10.0~11.5cmであった。さばっこは川奈を中心に入網し、前月の漁獲量を上回って平成元年以降では平成8年に次いで2番目に多く、

2004年6月

定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	19.8	20.0	20.1	21.4	22.1	21.7	21.2
	0.0	0.9	0.7	0.9	1.5	1.2	0.9
中 旬	21.0	20.4	20.8	22.3	22.8	22.6	22.0
	0.5	0.8	1.0	1.1	1.3	1.5	1.1
下 旬	21.5	20.7	21.2	23.0	24.6	22.6	22.4
	0.3	0.1	0.5	0.8	2.5	0.8	0.6
月平均	20.7	20.4	20.7	22.2	23.2	22.3	21.9
	0.3	0.6	0.8	0.9	1.8	1.2	0.9

尾叉長の中心は14~17cmであった。

漁場別水揚量は、ゴマサバ及びマサバの漁獲が多かった谷津(107トン)、マルソウダとさばっこの漁獲が多かった川奈(98.4トン)、ゴマサバ及びマサバの漁獲が多かった北川(85.9トン)の順であった。

**[サバたもすくい棒受網]**

小川港に水揚げされたサバ類は前月の水揚げ量(986トン)とほぼ同量の1,012トンで、ほとんどがゴマサバであった(マサバは92kg漁獲された)。漁場は三宅島近海~銭洲に形成され、ゴマサバは27~32cmの大きさのものが主体であった。1kg当たりの平均単価は棒受網では59円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成16年 上旬	237	4	20	11.9	三宅、高瀬
6月 中旬	383	4	20	19.1	三宅、高瀬 銭洲
下旬	392	5	17	23.0	三宅、高瀬 利島
計	1,012	13	57	17.7	- - - - -
平成 15 年 6 月	1,038	14	65	16.0	三宅、銭洲
平成 14 年 6 月	838	14	58	14.4	三宅、三本、高瀬

**[サクラエビ船曳網]**

平成16年春漁は、6月3日夜で終漁となった。6月は2日の操業で66トンの水揚げがあり、漁場は三保~富士川沖に形成された。

漁期を通してみると、水揚量は1,526トンと昨年春漁と比べて82トン多く、水揚金額は34億4千万円と、同様に1億9千万円上回った。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成 16 年 6 月 上旬	66	2	平均 549	三保~富士川沖
中旬	-	-	-	-
下旬	-	-	-	-
平成 16 年 6 月 計	66	2	平均 549	-
平成 15 年 6 月 計	107	2	平均 889	三保~田子の浦沖
平成 14 年 6 月 計	118	2	平均 981	戸田~土肥沖

**[まき網]**

小川港では、マイワシは37.7トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:2.0トン)の19倍と好調であった。カタクチイワシは47.5トン水揚され、平年同期(26.9トン)の177%と好調であった。

沼津港では、マイワシは1,059.0トン水揚され、平年同期(3.4トン)の315倍と好調であった。

カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは296.4トン水揚され、平年同期(1.1トン)の275倍と低調であった。カタクチイワシは121.4トン水揚され、平年同期(235.0トン)の52%と低調であった。

伊東港では、マイワシは水揚されなかった。カタクチイワシは308.5トン水揚された。

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で115kg、遠州灘で144kgだった。主要6港平均では134kgと前年同期(257kg)の52%、平年同期(過去5か年平均:457kg)の29%であった。6月の総水揚量は182.6トンと、前年同期(550.7トン)の33%、平年同期(1,273.8トン)の14%に当り、低調だった前年をさらに大きく下回った。平均単価は1,112円/kgと平年同期(610円/kg)を大きく上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	11.9	12	127	94	1,264
舞 阪	55.6	12	344	162	1,151
福 田	42.2	11	243	174	1,015
御前崎	11.4	12	125	91	1,480
吉 田	34.2	16	341	100	1,104
静 岡	27.2	9	194	140	988
平成 16 年 6 月 計	182.6	-	1,374	(平均)133	(平均)1,114
平成 15 年 6 月 計	550.7	-	2,146	257	703
平成 14 年 6 月 計	1,391.0	-	2,907	478	755

**[調査船の動向]**

富 士 丸

~6月14日 東沖ピンナガ調査(14日間)

6月25日~ 東沖ピンナガ調査(7日間)

駿 河 丸

6月1~2日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)

6月7~8日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(2日間)

6月9~10日 波勝崎沖にてマリンロボ調査及び駿河湾内にてシラス分布調査(2日間)

6月14日 駿河湾内にて公共用水域水質調査(1日間)

6月15~16日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(2日間)

6月17~18日 遠州灘にてトラフグ調査(2日間)

6月28~29日 三宅島沖にてサバ漁場環境調査(2日)

6月30日 波勝崎沖にてマリンロボ調査(1日間)